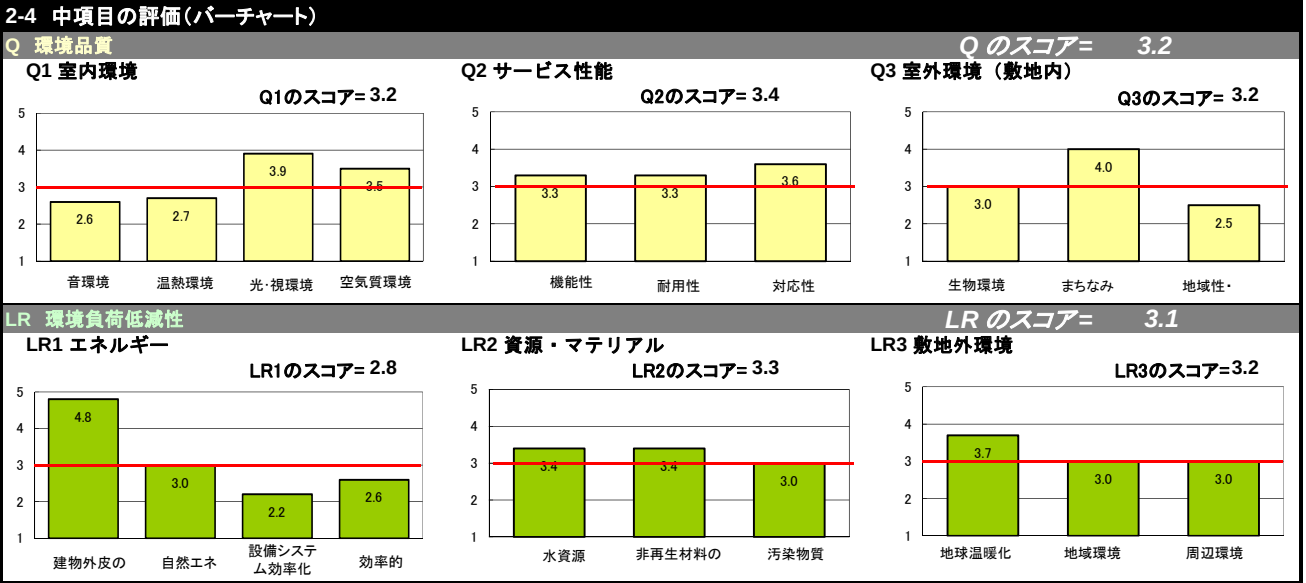
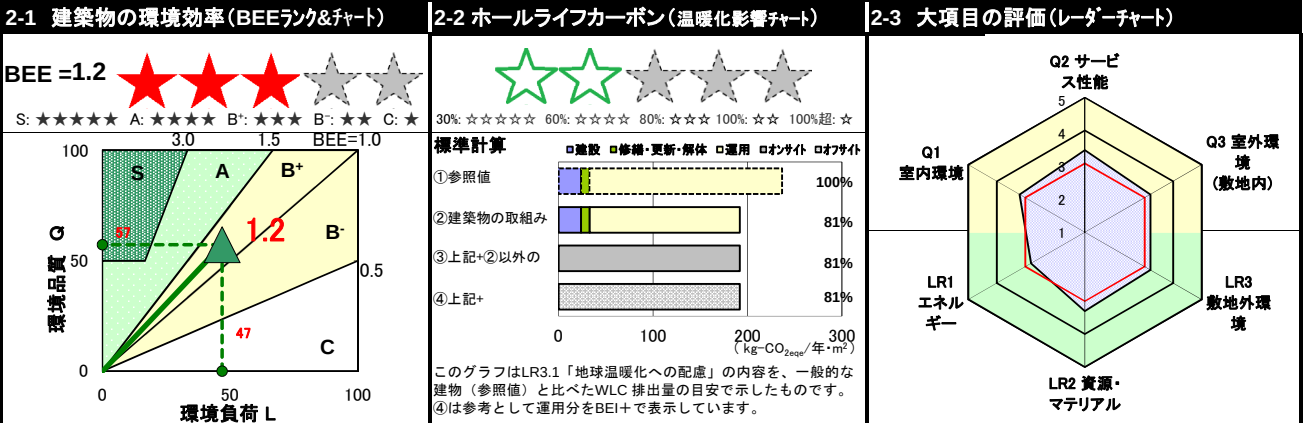


CASBEE[®]-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオン三田S&B 新築工事	階数	地上3F、地下0F
建設地	兵庫県三田市弥生が丘一丁目1番1	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	3,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,病院,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2026年6月25日
敷地面積	11,391 m ²	作成者	宮本裕也
建築面積	6,264 m ²	確認日	2026年6月25日
延床面積	13,560 m ²	確認者	宮本裕也



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・兵庫県三田市に建設される商業施設の計画である。 ・外皮性能を高め、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、WLC排出率の低減に努めている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・自動調光制御システムを採用しており、光・視環境に配慮している。	・耐用年数の長い建材や配管材料を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・周辺のまちなみや景観に対して配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。	・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。	・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される